

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	臨床実習（診療参加型）（Clinical Internships）		
ナンバリングコード	S40239	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 総合レベル / 診療放射線学
単位数	12	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修:診療放射線学コース 選択:臨床検査学コース、臨床医工学コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S006051	クラス名	-
担当教員名	野口 敦司、村中 博幸、衛藤 路弘、青山 良介、亀井 修、原田 義富、甲斐 倫明、東 敏也、		
履修上の注意、履修条件	診療放射線学コースの学生は必ず履修すること。診療画像技術学実習1および2を履修し、3年前期に実施するプレ臨床実習を受講し実技試験に合格すること。		
教科書	臨床実習指導者の指示に従うこと。		
参考文献及び指定図書	臨床実習指導者の指示に従うこと。		
関連科目	臨床画像解剖学、診療画像機器学、診療画像検査学、放射線治療技術学、核医学検査技術学、放射線腫瘍学、医療画像情報学、放射線安全管理学		

○基本情報		
授業の目的	1.将来、社会人として活躍するための良識を身に付けるとともに、医療人として倫理観を身に付ける。 2.臨床にて、診療放射線技師として不可欠な放射線業務の基本的な実践技術を修得する。 3.画像検査業務および放射線治療の必要性および重要性を認識するために、疾患の成り立ちと仕組みに興味をもち、検査結果をもとに治療のアプローチについて理解する。 4.医学・医療の専門職として医療チームの一員として積極的に取組むために、医療における診療放射線技師の役割と責任を知り、医療人としての自覚を持つ。	
授業の概要	関連講義にて学んできた診療放射線技術について、病院などの医療現場において実習することによりさらに理解を深める。画像診断分野、核医学分野、放射線治療分野において実習し、診療放射線技術学はもとより医療画像情報学、放射線安全管理学、医療安全管理学の理解を深める。また、患者の接遇方法やチーム医療の実際など、講義や学内実習だけでは十分に理解できない事項について学修する。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「実験・実習形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	臨床経験を有する診療放射線技師が担当します。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】	生命に対する尊厳と人権を尊重し、人間力の基盤である他者を思いやり、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。		10点	10点
【ディプロマ・ポリシー2】	幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。		10点	10点
【ディプロマ・ポリシー3】	医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や多職種間の連携に必要な課題解決力を身に付けている。		20点	10点
【ディプロマ・ポリシー4】	日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、医療の高度化、情報化に対応したデータやデジタルを活用できる力を身に付けている。		20点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
【成績評価・単位認定】 成績評価は以下の各項目の内容について総合的に評価を行い、その評価の合計点に応じてA、B、C、Eで評価する。このうち、A、B、C評価の場合を合格とし単位認定を行う。またE評価の場合は不合格とする。 1.臨床実習施設の臨床実習指導者からの評価:①実習状況、②学修評価(実践的技術・技能の習得状況)、③総合評価 2.臨床実習担当教員からの巡回指導報告の内容 3.学生の実習記録ノートの記載内容 4.プレ臨床実習の評価内容 5.臨床実習後に実施する臨床実習報告会の発表内容

○その他
【臨床実習参加の目的】 学内で学んだ知識や技術をもとに、医療機関にて経験豊富な臨床実習指導者の指導・助言を受けながら診療放射線技師業務および多職種連携等を実践的に学ぶ。臨床現場での学びを通し、学内では修得し得ない医療者としての倫理と責任を修得し、診療放射線技師がどうあるべきかを考察することを臨床実習参加の目的とする。
【実習項目】 1.画像診断分野(X線撮影検査、骨塩定量検査 X線透視検査、CT検査、MRI検査、血管造影検査、超音波検査、眼底検査) 2.核医学検査分野 3.放射線治療分野
【実施計画】 1.2年次後期と3年次前期に臨床実習前評価としてOSCEを実施し、診療参加型実習に臨むにふさわしい総合的知識及び基本的技能・態度を備えていることを確認する。 2.臨床実習開始前にプレ臨床実習を行う。(心構え、注意事項、実習への取り組みについて、など) 3.実習期間中にを登校日を設定し、実習内容と実習レポートについて報告と確認を行う。(県外で実習を行っている学生については、オンラインで参加も可能とする) 4.臨床実習後に、臨床実習で学修した内容を発表する実習報告会を実施する。
【臨床実習参加時の注意事項】 1.医療安全 実習期間中は、医療安全を徹底し事故防止に努めること。予期せぬ事故や事態が生じた場合には、学生は実習指導者及び実習担当教員に速やかに報告し、指示を待つ。 2.抗体検査 B型肝炎、麻疹、風疹、水疱、ムンプスの抗体検査について、抗体を有しない者には臨床実習開始3ヶ月前までにワクチン接種を終了すること。また、インフルエンザに関しては、流行期前にワクチンを接種すること。 3.感染症の予防と対策 実習期間中は実習施設が実施している感染症対策に沿って感染予防に努めること。また、実習時間外においても感染症対策を徹底し予防すること。万一感染症が疑われる場合には、臨床実習指導者および臨床実習担当教員に相談すること。 4.守秘義務の徹底と個人情報保護対策 臨床実習・臨床実習で知りえた、個人情報については一切口外しないこと。また、個人情報を含む内容をメモ用紙やノート、電子ファイル等に記録しないこと。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	臨床実習(診療参加型)(Clinical Internships)	授業コード	S006051
	担当教員	野口 敦司、村中 博幸、衛藤 路弘、青山 良介、亀井 修、原田 義富、甲斐 倫明、		
学修内容				
1. 実習生は12週間の臨床実習を通して、次に掲げる事項について臨床実習指導者による指導を受けるものとする。 ①画像診断分野:X線撮影検査、骨塩定量検査、X線透視検査、CT検査、MRI検査、血管造影検査、超音波検査、眼底検査 における各装置に対する理解とそれぞれの検査方法の学修など ②核医学検査分野:核医学検査機器についての理解と検査方法の学修 ③放射線治療分野:放射線治療機器についての理解と治療手技の学修				
予習 復習				
2.				
予習 復習				
3.				
予習 復習				
4.				
予習 復習				
5.				
予習 復習				
6.				
予習 復習				
7.				
予習 復習				
8.				
予習 復習				

○授業計画	科 目 名	臨床実習(診療参加型)(Clinical Internships)	授業コード	S006051
	担当教員	野口 敦司、村中 博幸、衛藤 路弘、青山 良介、亀井 修、原田 義富、甲斐 倫明、		
学修内容				
9.				
予習 復習				
10.				
予習 復習				
11.				
予習 復習				
12.				
予習 復習				
13.				
予習 復習				
14.				
予習 復習				
15.				
予習 復習				
16.				
予習 復習				